



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 三洋化成工業株式会社

コード番号 4471 URL <http://www.sanyo-chemical.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 孝夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員事務本部長 (氏名) 小寺 昭芳 TEL 075-541-6153

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日 配当支払開始予定日 平成25年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	80,236	13.5	4,105	37.5	5,054	46.2	2,932	53.5
25年3月期第2四半期	70,681	△0.5	2,986	△11.5	3,456	△17.5	1,910	△22.6

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 6,971百万円 (－%) 25年3月期第2四半期 611百万円 (△69.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	26.59	—
25年3月期第2四半期	17.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	158,960	100,360	60.8	876.32
25年3月期	155,438	94,279	58.7	827.72

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 96,645百万円 25年3月期 91,290百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
26年3月期	—	7.50			
26年3月期（予想）			—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	161,000	12.9	7,400	19.6	8,100	11.5	4,900	17.2	44.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日(平成25年10月31日)公表いたしました「平成26年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	117,673,760株	25年3月期	117,673,760株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	7,388,408株	25年3月期	7,382,003株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	110,288,309株	25年3月期2Q	110,296,701株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	13
4. 補足情報	14
四半期ごとの業績推移	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(4月～9月)におけるわが国経済は、輸出環境が改善するとともに設備投資も持ち直しの動きが見られるなど景気は緩やかに回復しつつあります。一方、欧州経済の低迷や中国の経済成長鈍化など、わが国を取り巻く環境は先行き不透明な状況にあります。

化学業界におきましては、為替は円安基調で推移したものの、原燃料価格は乱高下しながらも高水準にあり厳しい状況が続いております。

このような環境下における当第2四半期連結累計期間の売上高は、高吸水性樹脂の販売が好調であったことなどにより、802億3千6百万円(前年同期比13.5%増)となりました。利益面では、増収効果に加え円安などにより、営業利益は41億5百万円(前年同期比37.5%増)、経常利益は50億5千4百万円(前年同期比46.2%増)、純利益は29億3千2百万円(前年同期比53.5%増)と、いずれも前年同期比で大幅増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

<生活・健康産業関連分野>

生活産業関連分野は、液体洗剤用界面活性剤が堅調な需要を背景に新製品の上市もあり、大幅に売り上げを伸ばしましたが、ヘアケア製品用界面活性剤やポリエチレングリコールなどの売り上げが横ばいにとどまるとともに、諸工業用界面活性剤の需要が減少したこともあり、売り上げは横ばいとなりました。

健康産業関連分野は、紙おむつ用高吸水性樹脂の需要増に対する中国での能力増強効果や紙おむつの薄型化等に貢献する高性能高吸水性樹脂の拡販が進み、売り上げが大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は333億2千万円(前年同期比25.2%増)、営業利益は19億7千4百万円(前年同期比67.8%増)となりました。

<石油・輸送機産業関連分野>

石油・輸送機産業関連分野は、自動車シートなどに使われるポリウレタンフォーム用原料の国内販売が横ばいでしたが、海外での拡販により、好調な売り上げとなりました。また、潤滑油添加剤も省燃費対応エンジンオイルの需要拡大が続き、売り上げを伸ばしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は181億4百万円(前年同期比7.1%増)、営業利益は7億4千1百万円(前年同期比28.5%増)となりました。

<プラスチック・繊維産業関連分野>

プラスチック産業関連分野は、塗料・コーティング用薬剤などが大幅に売り上げを伸ばしました。また、電子部品搬送トレイなどに使用される永久帯電防止剤も低抵抗型高性能製品の拡販が進み、売り上げは好調に推移しました。

繊維産業関連分野は、ガラス繊維用薬剤の需要低迷が続きましたが、炭素繊維用薬剤の需要が国内外ともに増加したこと、合成皮革・弾性繊維用ウレタン樹脂や自動車エアバッグ糸・タイヤコード糸などの製造時に用いられる繊維用薬剤が大幅な売り上げ増となったことなどにより、売り上げは大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は96億3千5百万円(前年同期比10.1%増)、営業利益は11億3千1百万円(前年同期比11.3%増)となりました。

<情報・電気電子産業関連分野>

情報産業関連分野は、粉砕トナー用バインダーは需要が復調の兆しを見せ始めたものの、重合トナー中間体ポリエステルビーズは新規開発品への切り替えが遅れたため低調に推移し、売り上げは横ばいとなりました。

電気電子産業関連分野は、アルミ電解コンデンサ用電解液の需要が復調したことやセラミックバインダー用薬剤などの電子部品用薬剤の販売が増加したことなどにより、売り上げを伸ばしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は103億7千7百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益は3億3千1百万円(前年同期比20.2%増)となりました。

<環境・住設産業関連分野他>

環境産業関連分野は、主力の高分子凝集剤が市況悪化により、売上高が大幅に減少しました。

住設産業関連分野は、建築シーラント用原料やセメント用薬剤の売り上げが横ばいで推移しましたが、家具・断熱材などに用いられるポリウレタンフォーム用原料が大幅な需要増となり、売り上げが増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は87億9千9百万円(前年同期比5.9%増)となりましたが商品構成の悪化もあり、営業損益は7千3百万円の損失(前年同期は5千9百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、時価評価による投資有価証券の増加などにより、前連結会計年度末に比べて35億2千2百万円増加し1,589億6千万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べて60億8千万円増加し1,003億6千万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末から2.1ポイント上昇し60.8%となりました。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末残高と比較し13億1千5百万円増加(前年同期は14億5千2百万円増加)し、当第2四半期連結会計期間末残高は114億8千万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、77億9千5百万円(前年同期は72億6千8百万円の増加)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益47億8千6百万円、減価償却費45億8千万円、売上債権の減少22億6千7百万円などによる資金の増加が、仕入債務の減少22億6千1百万円、法人税等の支払額11億6千7百万円などによる資金の減少を上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、47億7千2百万円(前年同期は60億6千2百万円の減少)となりました。これは、固定資産の取得に46億8千8百万円を支出したことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、20億1千7百万円(前年同期は3億3千4百万円の増加)となりました。これは長期借入金の返済16億5千3百万円、配当金の支払い8億2千7百万円などにより資金が減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

高吸水性樹脂の販売が引き続き好調に推移すると見込まれることなどもあり、売上高は前回(7/31)発表を上回る予想であり、売上高を修正いたしました。

なお、利益面は、ナフサ価格や為替の動向等、現時点では不透明な要素もあることから、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回発表を変更しておりません。

(通期)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	155,000	7,400	8,100	4,900	44.43
今回修正予想 (B)	161,000	7,400	8,100	4,900	44.43
増減額 (B-A)	6,000	—	—	—	—
増減率 (%)	3.9	—	—	—	—
前期実績	142,652	6,186	7,266	4,179	37.89

※ 業績予想は発表日時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示してあります。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項ありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,164	11,480
受取手形及び売掛金	43,166	41,674
商品及び製品	10,456	10,826
半製品	3,265	3,588
仕掛品	492	414
原材料及び貯蔵品	4,594	4,335
繰延税金資産	1,147	1,152
その他	616	1,033
貸倒引当金	△33	△32
流動資産合計	73,870	74,473
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,205	16,478
機械装置及び運搬具（純額）	25,683	27,738
土地	8,618	8,676
建設仮勘定	4,302	1,935
その他（純額）	1,398	1,374
有形固定資産合計	56,208	56,204
無形固定資産		
ソフトウェア	852	802
のれん	1,335	1,268
その他	407	450
無形固定資産合計	2,595	2,521
投資その他の資産		
投資有価証券	21,196	24,256
長期貸付金	2	2
繰延税金資産	303	226
その他	1,298	1,312
貸倒引当金	△36	△36
投資その他の資産合計	22,764	25,760
固定資産合計	81,567	84,486
資産合計	155,438	158,960

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,567	26,000
短期借入金	9,573	10,904
1年内返済予定の長期借入金	3,038	1,623
未払費用	2,900	2,935
未払法人税等	945	1,104
賞与引当金	1,456	1,545
役員賞与引当金	65	36
設備関係支払手形	2,036	1,216
その他	2,908	2,099
流動負債合計	50,491	47,467
固定負債		
長期借入金	6,037	5,952
退職給付引当金	2,392	2,046
役員退職慰労引当金	519	564
繰延税金負債	762	1,714
その他	955	855
固定負債合計	10,666	11,132
負債合計	61,158	58,600
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,051	13,051
資本剰余金	12,194	12,194
利益剰余金	67,148	69,253
自己株式	△5,701	△5,705
株主資本合計	86,691	88,793
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,730	7,481
為替換算調整勘定	△1,131	369
その他の包括利益累計額合計	4,598	7,851
少数株主持分	2,989	3,714
純資産合計	94,279	100,360
負債純資産合計	155,438	158,960

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	70,681	80,236
売上原価	58,451	66,677
売上総利益	12,230	13,558
販売費及び一般管理費	9,244	9,453
営業利益	2,986	4,105
営業外収益		
受取利息	24	27
受取配当金	312	206
持分法による投資利益	309	157
不動産賃貸料	164	155
為替差益	—	390
その他	141	347
営業外収益合計	952	1,284
営業外費用		
支払利息	170	185
不動産賃貸原価	35	36
たな卸資産廃棄損	179	50
為替差損	56	—
その他	40	63
営業外費用合計	482	336
経常利益	3,456	5,054
特別利益		
投資有価証券売却益	66	11
固定資産売却益	1	5
受取保険金	42	15
特別利益合計	110	32
特別損失		
固定資産除却損	312	299
投資有価証券評価損	20	—
その他の投資評価損	0	—
貸倒引当金繰入額	1	—
特別損失合計	334	299
税金等調整前四半期純利益	3,232	4,786
法人税等	1,112	1,404
少数株主損益調整前四半期純利益	2,119	3,382
少数株主利益	209	449
四半期純利益	1,910	2,932

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,119	3,382
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,658	1,751
為替換算調整勘定	150	1,837
その他の包括利益合計	△1,508	3,588
四半期包括利益	611	6,971
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	372	6,185
少数株主に係る四半期包括利益	238	785

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,232	4,786
減価償却費	4,319	4,580
固定資産除却損	312	299
のれん償却額	—	66
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	241	88
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△330	△346
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△157	45
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20	△28
受取利息及び受取配当金	△336	△234
支払利息	170	185
持分法による投資損益 (△は益)	△309	△157
固定資産売却損益 (△は益)	△1	△5
投資有価証券売却損益 (△は益)	△66	△11
投資有価証券評価損益 (△は益)	20	—
その他の営業外損益 (△は益)	△215	△588
売上債権の増減額 (△は増加)	395	2,267
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,741	258
その他の資産の増減額 (△は増加)	△648	△388
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,219	△2,261
未払消費税等の増減額 (△は減少)	146	72
未収消費税等の増減額 (△は増加)	7	5
その他の負債の増減額 (△は減少)	320	△45
小計	6,559	8,589
利息及び配当金の受取額	1,016	419
利息の支払額	△170	△197
その他	35	151
法人税等の支払額	△172	△1,167
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,268	7,795
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△5,954	△4,688
固定資産の売却による収入	1	6
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	107	38
貸付けによる支出	△1	△1
貸付金の回収による収入	1	17
その他	△213	△140
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,062	△4,772

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	1,353	403
長期借入れによる収入	2,000	123
長期借入金の返済による支出	△1,779	△1,653
自己株式の取得による支出	△1	△3
配当金の支払額	△827	△827
少数株主への配当金の支払額	△410	△60
財務活動によるキャッシュ・フロー	334	△2,017
現金及び現金同等物に係る換算差額	△88	310
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,452	1,315
現金及び現金同等物の期首残高	9,360	10,164
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,813	11,480

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額	合計
	生活・健康 産業関連分 野	石油・輸送 機産業関連 分野	プラスチ ック・織 維産業関連 分野	情報・電 気電子産 業関連分 野	環境・住設 産業関連分 野他	計		
売上高								
外部顧客への売上高	26,606	16,910	8,755	10,104	8,305	70,681	—	70,681
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	14	—	135	150	△150	—
計	26,606	16,910	8,769	10,104	8,440	70,831	△150	70,681
セグメント利益 又は損失(△)	1,176	577	1,017	275	△59	2,986	—	2,986

(注) セグメント利益又は損失の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額	合計
	生活・健康 産業関連分 野	石油・輸送 機産業関連 分野	プラスチ ック・織 維産業関連 分野	情報・電 気電子産 業関連分 野	環境・住設 産業関連分 野他	計		
売上高								
外部顧客への売上高	33,320	18,104	9,635	10,377	8,799	80,236	—	80,236
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	9	—	249	258	△258	—
計	33,320	18,104	9,645	10,377	9,048	80,495	△258	80,236
セグメント利益 又は損失(△)	1,974	741	1,131	331	△73	4,105	—	4,105

(注) セグメント利益又は損失の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

<参考>

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）（単位：百万円）

	日本	米国	中国	その他の地域	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	58,738	1,976	8,654	1,312	70,681	—	70,681
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,968	1	527	—	2,497	△2,497	—
計	60,707	1,978	9,181	1,312	73,179	△2,497	70,681
営業利益(又は営業損失)	2,745	△93	205	55	2,912	74	2,986

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）（単位：百万円）

	日本	米国	中国	その他の地域	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	62,294	2,547	13,645	1,749	80,236	—	80,236
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,267	—	606	—	2,874	△2,874	—
計	64,561	2,547	14,251	1,749	83,110	△2,874	80,236
営業利益(又は営業損失)	3,233	△94	834	82	4,056	48	4,105

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）（単位：百万円）

	アジア	(うち中国)	アメリカ	その他の地域	計
I 海外売上高	16,004	(9,773)	5,157	3,612	24,774
II 連結売上高	—	(—)	—	—	70,681
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	22.7	(13.8)	7.3	5.1	35.1

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）（単位：百万円）

	アジア	(うち中国)	アメリカ	その他の地域	計
I 海外売上高	19,130	(10,755)	5,571	6,605	31,306
II 連結売上高	—	(—)	—	—	80,236
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	23.9	(13.4)	6.9	8.2	39.0

(注) 1. 海外売上高は、当社(単体)及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

2. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

3. 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) アジア : 韓国、中国、インドネシア、インド、タイ 他

(2) アメリカ : 米国、メキシコ、ブラジル 他

(3) その他の地域 : オーストラリア、ヨーロッパ、ロシア、中東 他

(重要な後発事象)

(重要な設備投資)

当社は平成25年10月24日開催の取締役会において、当社連結子会社である三大雅精細化学品(南通)有限公司で下記の増設投資を行うことを決定しました。

1. 目的

世界的に拡大を続ける高吸水性樹脂の需要増に対応するため、生産能力を増強するものであります。

2. 設備投資の内容

(1)所在地：中国江蘇省南通市

(2)投資金額：50億円強

(3)増設能力：80,000トン／年

3. 完成予定日

平成27年7月

4. 資金調達方法

自己資金及び借入金

(注)三大雅精細化学品(南通)有限公司の親会社であるサンダイヤポリマー株式会社は、当社と三菱化学株式会社が出資する合弁会社でありましたが、豊田通商株式会社が、平成25年9月30日、三菱化学株式会社からサンダイヤポリマー株式会社の株式30%の譲受を完了したことを受け、当社と豊田通商株式会社との間で新たな合弁契約を締結しました。これを機に、SDPグローバル株式会社に商号変更しました。

4. 補足情報

四半期ごとの業績推移

1. 連結

前年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (平成24年4月～6月)	第2四半期 (平成24年7月～9月)	第3四半期 (平成24年10月～12月)	第4四半期 (平成25年1月～3月)	累計 平成25年3月期
売上高	35,929	34,751	35,422	36,548	142,652
営業利益	1,635	1,350	1,642	1,557	6,186
経常利益	2,245	1,210	1,975	1,833	7,266
四半期(当期)純利益	1,171	739	1,363	905	4,179
四半期包括利益又は 包括利益	949	△338	2,307	3,646	6,565

当年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (平成25年4月～6月)	第2四半期 (平成25年7月～9月)	伸び率(%)	
			前年同期(2Q)比	前四半期(1Q)比
売上高	38,997	41,238	18.7	5.7
営業利益	2,469	1,635	21.1	△33.8
経常利益	3,094	1,960	61.9	△36.6
四半期(当期)純利益	2,009	923	24.9	△54.1
四半期包括利益又は 包括利益	4,395	2,575	—	△41.4

2. 単体

前年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (平成24年4月～6月)	第2四半期 (平成24年7月～9月)	第3四半期 (平成24年10月～12月)	第4四半期 (平成25年1月～3月)	累計 平成25年3月期
売上高	24,351	23,195	23,281	23,916	94,744
営業利益	1,092	437	865	462	2,858
経常利益	1,877	1,129	1,416	991	5,414
四半期(当期)純利益	1,146	1,006	1,220	669	4,043

当年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (平成25年4月～6月)	第2四半期 (平成25年7月～9月)	伸び率(%)	
			前年同期(2Q)比	前四半期(1Q)比
売上高	24,475	24,778	6.8	1.2
営業利益	1,289	426	△2.5	△66.9
経常利益	1,904	944	△16.4	△50.4
四半期(当期)純利益	1,476	640	△36.3	△56.6